

平成 27 年度第 12 回石狩市厚田区地域協議会

【日 時】 平成 28 年 3 月 29 日（火） 19：30 ～ 20：20

【場 所】 厚田保健センター 2 階 保健研修室

【出席者】 9 名（15 人中）

役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠	役 職	氏 名	出欠
会長	佐 藤 勝 彦	○	委員	小 山 玲 子	○	委員	中 井 健 太	
副会長	渡 邊 教 円	○	委員	今 光 江		委員	平 賀 敏 和	○
委員	大 内 さつき	○	委員	坂 本 悌 生		委員	前 田 和 也	
委員	大 黒 利 勝	○	委員	柴 田 志寿子		委員	築 田 敏 彦	○
委員	小笠原 英 史	○	委員	柴 田 肇	○	委員	吉 田 美 香	

※正副会長を除き、あいいうえお順

本 庁 ～ 環境市民部 広聴・市民生活課 田村課長

支 所 ～ 西田支所長・熊谷課長

事務局 ～ 高田課長・相原主幹・渡部主査・永澤主任・寺内主任
(地域振興課)

地域おこし協力隊 ～ 小島隊員・沼倉隊員

【傍聴者】 0 名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長あいさつ
 3. 情報交流（リラックス タイム）
 4. 報告事項
 - （1）浜益厚田間乗合自動車の運行について
 5. 協議事項
 6. その他
 - ・石狩市過疎地域自立促進市町村計画について
 - ・多機能拠点形成ビジョンについて
 - ・地域おこし協力隊活動報告会終了と退任について
 - ・地域協議会小冊子について
 - ・その他
 7. 閉会

1. 開会

【 厚）地域振興課 高田課長 】

皆さんどうもお疲れ様です。今日は望来で葬儀もありまして、1時間遅れでのスタートという事になりました。1時間程度で終わらせたいなと思っておりますのでよろしくお願い致します。始める前に、本日は6名の方より欠席という事で連絡を受けております。坂本委員、今委員、柴田志寿子委員、前田委員、中井委員、吉田委員の6名より欠席すると連絡を受けておりますので、ご報告をさせていただきます。それでは平成 27 年度第 12 回厚田区地域協議会を開会致します。

会長ご挨拶の方、よろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

【 佐藤会長 】

改めてお晩でございます。年度末の忙しい時で、今日は一時間遅れという事で大変皆さんにご迷惑をお掛けしておりますけれども、議事の方はサクサク進めて一時間という事で聞いておりますので、私の挨拶が長くなりますと一時間を越えてしまいますので、年度variという事で新年度に向けて地域協議会の新しい動きを地域の為にやっという志しをまた改めて次年度に向けて考えて行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

それでは今日はリラックスタイム無しという事で、報告事項に進みたいと思います。

3. 情報交流（リラックス タイム）

4. 報告事項

（１）浜益厚田間乗合自動車の運行について

【 佐藤会長 】

第一点目の「浜益厚田間乗合自動車の運行について」という事で、これは本庁の方から環境市民部の広聴・市民生活課より田村課長に来ていただき、説明してもらっておりますのでよろしくお願い致します。

【 公聴・市民生活課 田村課長 】

いつもお世話になっております。広聴・市民生活課の田村と申します。座って説明をさせていただきます。

皆さんのお手元にこちらのパンフレットがあると思いますので、こちらに従って説明をさせていただきます。既にご存知かと思いますが、明後日 3 月 31 日をもちまして中央バスの「札幌浜益線」は廃止となりまして、その補完という意味合いもありますが、浜益区内の交通の不便さを解消する為に、将来に向けて持続が可能な交通のシステムを組み立てるという事で一年以上検討をして参りまして、いよいよこの四月から運行していくのがこの浜益厚田間乗合自動車という事になります。今、浜益と滝川の間を運行している浜益滝川間の乗合自動車というのもあるんですが、それよりもっと制度が複雑なシステムになっておりますのでお話をさせていただきます。

呼び方としまして浜厚線と呼ぼうと思っておりますので、説明でも浜厚線と説明させていただきます。この浜厚線は路線バスのような定時・定路線のバスではなく、予約に応じて運行をしていく「デマンドの方式」としております。予約が無ければ運行はしないので、無駄が無いという事です。デマンド交通のイメージというのがこの下の方の図にあるのですが、この図にあるように予約をいただいた方のご自宅までお迎えに行き、目的地までお連れするという方式です。運行エリアが浜益区内と厚田区内でいきますと、濃昼と安瀬、そして厚田支所前の 3ヶ所のバス停しかありませんが、浜益区につきましては運行エリアがありまして、北方面、東方面、南方面の 3つに分かれております。

資料を開いていただきまして、下のところに運行便と書かれている大きめの表がありまして、想定としましては第 1 便から第 7 便までを予定しており、基本的には第 1 便と第 7 便が今の「札幌線」を補完する路線となっております。今、7 時 1 分に厚田支所を出て行くバスがあると思うんですけども、これが今で言いますと 6 時 15 分に幌から出るバスになるんですね。これを補完するのが第 1 便となりまして、第 7 便は 16 時 45 分に札幌ターミナルを出てきて、厚田支所の所に 18 時 11 分だったかと思うのですが、到着する便なのですが、これが「札幌線」の補完の形になります。厚田の方は厚田支所から浜益に行くというところにしか利用は出来ませんので、この運行便でいきますと 4、5、6、7 の便で利用が可能なのですが、5 便と 7 便がこの厚田区の厚田支所から浜益区内に行く便になっておりますので、浜益区にお出かけの方は 5 便か 7 便をご利用いただく形になります。ただ、2 便と 3 便というのが浜益区内を運行する便なんですけれども、この 1 便と 2 便の間が 1 時間空いています。厚田支所までどのみち来るので、ただ空で戻るよりはどなたかをお連れした方が無駄に

帰らないので、もし、この時間帯に浜益にお出かけになりたいという方がいましたら、ご予約をいただければ乗る事も可能です。ただし、厚田の支所のバス停が安瀬か濃昼に限ります。予約はこの表の上の方に北海道東急ビルマネジメント（株）というところが載っておりますが、運行委託で事業者さんをお願いしておりますのでこちらの方にさせていただく形になります。一応、生活の足を確保するという事が目的ですので、大変申し訳無いのですが、土、日、祝日、年末年始はお休みとなっております。

今、浜益中学校と厚田中学校が合同で部活動をやっている生徒さんがおります。野球部ですとか、バレー部ですとかのお子さんもこのデマンド交通を利用して浜益から厚田に来るという事で、帰りも厚田から浜益に行くという事で、4便と7便には生徒さんが乗ることがありますので生徒さんを優先するという事になると、一般の方がお乗りになれない場合もありますが、ご予約に応じて運行はして行きますので、もしお出かけの時にはお電話をいただければと思います。

予約から乗車までの流れというのが裏面にありまして、まずご予約を東急ビルマネジメントにさせていただきます。行き先ですとか時間帯をお伝えいただくと予約を受け付けます。予約後は、2番目となりますが、東急ビルマネジメントさんの方でその日に行く方をチョイスし、時間を決めて何時に伺いますという連絡をします。その後は、本当に乗る日のその時間帯にご自宅前で待っていただきますとデマンドの車が行きますので、この車に乗っていただくことになります。デマンドで相乗りですから、あちこちに寄ってという事で浜益から厚田支所のバス停に向う間に、みんなが厚田支所まで行く訳では無いので、途中で送毛に寄るだとか、濃昼に寄るだとか色んな所に寄ってから、最終的な目的地の厚田支所に行くという形になりまして、帰りはその逆となります。この乗合自動車は10人乗りの自動車で運転手さんが1名いますので、全部で9名の方にご乗車いただく事が可能です。料金も距離に応じて決めておりまして、ちょっと開いていただくと料金表がございます。ブルーのところの縦軸が発着する所で、横軸が着く所という事で降りる所になります。乗る所と降りる所がありますので、例えば、厚田から浜益支所へ行くとなりますと一番下の厚田から横軸の浜益の所にいきますと700円という事で、片道700円という事になります。安瀬の方が厚田支所の所まで行くとなると安瀬から厚田支所なので300円という風に見ていただきます。中学生以下のお子さんと障がいをお持ちで手帳が発行されている方は半額でお乗りいただけます。定期券と回数券もご用意しておりまして、もしご利用の方がいらっしゃいましたら浜益支所の市民福祉課の方にお知らせ下さい。お出掛け先からもご予約が可能なように小さなカードを用意しておりますので、もし必要な方がいらっしゃいましたらお渡ししますのでおっしゃって下さい。

それからこの中に挟んでありました運賃特別免除制度についてご説明したいと思います。予約とかが面倒くさくて乗るのも面倒だという方が多いので、そうならないようにちょっと1回利用していただきたいという事をメインとし、また、利用の電話番号を登録しておくといちいち名前とか住所を言わなくても、どこの誰ですねと解るようにまずご利用の電話番号を登録していただいて、その登録していただいた方の中で希望の方には一往復分の運賃を免除しますよという仕組みです。まずは、どなたでもご利用いただけまして、電話番号の登録というのをしていただきまして、特別免除申請書というのがお手元にあると思いますが、この申請書をお出しいただきますと代表者の方とご家族の方でお使いになる方のお名前を書いていただきましたら、その方々の人数かける2枚ずつをお渡し致します。申込み期限が今年の5月31日までとなっております、お使いいただく有効期限もありますので、なるべく早くお使いいただきたいというのが目的なので7月29日を期限としております。お乗りの際には、東急ビルマネジメントさんにご予約をいただき、この免除の券を使いたいという事をお伝えいただきますと使い方全部説明していただける事になっておりますので、もし、厚田から浜益にお出かけになりたいというご希望のある方ですとか、安瀬、濃昼にお住まいの方であればご利用が可能ですので、どうぞご登録をいただきたいと思います。以上で浜益厚田線の説明については終わりとなりますが、何かお聞きになりたい事があれば伺いたいと思います。

【佐藤会長】

どうもありがとうございました。それでは質問をお伺いしたいと思います。

【柴田(肇)隊員】

料金についてですが、この料金設定の根拠は何かなと思ひまして、中央バスに比べて高いのか安いのかという事も含めて教えて下さい。

【公聴・市民生活課 田村課長】

浜益からの中央バスの料金を基本にして考えておりまして、浜益から札幌ターミナルまで乗って行くと2,100円位とか掛かるんですね。それよりはという事で、家の前まで迎えに行きますので高い金額で設定し、タクシーよりは低い金額でという設定をしており、最大1,100円から300円という間で距離数に応じて決めています。ただ、安瀬、濃昼の方が距離で換算する場合に100円とか200円になってしまうんですけども、最低金額を300円にしておりますので、大変申し訳ないのですが、安瀬、濃昼の方は札幌安瀬間といいますか、その間の料金がかなり高くなってしまいまして、190円程高くなってしまいますがこの設定としております。

【 柴田(肇)隊員 】

もう一点お尋ねしたいんですけども、料金の事を訪ねた理由には将来的に厚田浜益間ではなくて、こちらの方ももしかしてこんな事態が起きた時に当然、これが根拠の金額となりますから、そこら辺も心配してちょっと聞いた訳なんですよ。安いに越した事は無いんですけども、赤字にしてまではなかなか出来ないと思いますから、これを今の料金体系で利用者にもよるんでしょうけれども、市としての試算としましては初年度、3年度位迄は赤字、あるいはどういう風な見通しを立てているんでしょうか。

【 公聴・市民生活課 田村課長 】

運行に当たっては、年間一千万位が必要になります。事業さんに対しての委託料ですとかガソリン代を含めますと年間一千万円程度になるんですが、この内 320 万円程度を利用者様の運賃収入と見込んでおります。この他に国からの補助がありまして、これが大体 200 万円、これも利用者数とかによっても変わるんですけども、一応、最大で 200 万円の補助が出る事になっておりますので、両方を合わせますと大体 500 万円位になります。中央バスの札幌浜益線を運行するのに、いつも利用者さんが少ないという事もあって中央バスも辞めたいという事もありましたので、年間 500 万円の補助金を中央バスに支出しておりました。これに満たない程度で利用者さんの運賃をある程度、出しているというのがあります。年間の利用者さんが一応、三千人という事でこれだけ乗りますと 320 万円は収入が確保出来ると思っております。

【 佐藤会長 】

その他に何か質問はありませんか。

【 築田委員 】

今、浜益滝川間が動いているという事なんですけれども、割と浜益の人は滝川へ行く人が多いと思うんですけども、浜益滝川間では実際にどの位利用され、浜益からこっちに来る路線を利用されても、年間三千人位の目標という事なので、その辺の試算というのは大体出来ているんでしょうか。

【 公聴・市民生活課 田村課長 】

滝川浜益間の方も年々利用者数は減ってきているんですが一往復なんです。病院へ通われる方が大半で、透析とかで定期的に通われている方で定期利用なので、大体、一日に3人位は確保出来ていますが、引越されたり亡くなられたりという事で徐々に少なくなっている状況にあります。利用の病院というのがやっぱり分かれています。札幌方面へお出掛けの方が多いようですので、今のところ試算上は三千人を見込んでいて、部活動とかで利用する際も利用料は徴収しますので、一応、試算上は成り立つ事になっております。

【 佐藤会長 】

その他、ありませんか。

【 厚) 地域おこし協力隊 小島隊員 】

軽い質問かと思いますが、僕が7月に幌でサクランボ狩りをしたいと思った時に5月31日迄に利用登録をしておくと、一往復はタダで往復出来てしまうという事ですか。

【 公聴・市民生活課 田村課長 】

そうです。

【 厚) 地域おこし協力隊 小島隊員 】

例えば、札幌に住んでいる友達が厚田まで来て、厚田の支所前から行きたいと思ったら5月31日迄に利用登録しておけば、厚田までのバス料金で行けてしまうという事です。

【 公聴・市民生活課 田村課長 】

そうです。

【 厚) 地域おこし協力隊 小島隊員 】

ありがとうございました。

【 平賀委員 】

1便と7便は中央バスの乗り継ぎの部分という事だと思いますけれども、例えば、7便の方で冬の吹雪とかでバスが遅れるという可能性があると思うんですけども、その場合、このバスが来るまで待つという形を取

ってくれるのでしょうか。それとも時間になったら発車してしまうのか。

【公聴・市民生活課 田村課長】

7便は、札幌ターミナルから厚田に来て、厚田から浜益へとお送りする便となりますので、ここは着くまで待つという事はもちろん可能なのですが、逆に1便はその心配がありまして、凄く吹雪いていて浜益から厚田に来るまでにちょっと時間が過ぎてしまうと7時1分のバスに間に合わないという風になる可能性があるんですね。それでかなり余裕を持った運行計画になるという可能性もあります。雄冬だと5時半に出ますとかという事も考えられます。一応、ドライバー間でございますか中央バスと中継しますけれども、運行状況の確認というのは話し合いながらやっていただける事にはなっておりますので、ある程度は大丈夫だと思います。

【佐藤会長】

その他、ありませんか。

【厚）地域おこし協力隊 小島隊員】

運賃免除券が一人につき2枚という事ですけれども、例えば、一つの電話番号で家族が5人居ますという時に免除券が5人分発行されると思うんですけれども、一人の人が5枚使っても問題は無いのでしょうか。

【公聴・市民生活課 田村課長】

そこは上手く出来ておりまして、この登録いただいたものに全てお名前が振られております。2枚ずつ振られておりますので、お父さんとお母さんという事でそれぞれにご利用いただきたいと思います。

【厚）地域おこし協力隊 小島隊員】

ずる出来ないという事が解りました。ありがとうございます。

【佐藤会長】

他に質問が無いようなので一つお聞きしたいのですが、これは土日、祝日、年末年始とお休みなんですよ。その時に二点ありまして、一点は例えば土曜日の部活で生徒さんがやりたいと言ったら、今のところは親の送り迎えだけなのですが、それともう一点、どっかでこう地域ですからイベントやなんかの送り迎えという事までは考えておりませんよね。そしてそういう要望というのは無かったのですか。

【公聴・市民生活課 田村課長】

土日の運行に関してはその部活動という事に無く、ご要望はありました。ただ、今回の基本となっているのは生活の足を確保するという事なので、本当に申し訳無いのですか病院へ行くだとか、お買い物へ行くだとかというところを確保させていただくという事で、言葉が悪いかも知れませんが、遊びに行くだとかという場合は沿岸バスが動いておりますので、そちらの方をご利用いただきたいと思います。

【渡邊副会長】

部活動も半額の金額になるんですかね。

【公聴・市民生活課 田村課長】

部活動はこのデマンドのシステム上、中学生は半額なのですが教育委員会の方で補助制度を設けておりまして、一応、定期券の利用額の半額を保護者の方にご負担いただいて、半額を教育委員会が負担するという風に今、動いております。

【渡邊副会長】

今はお金掛かって無いですよ。

【公聴・市民生活課 田村課長】

今は支所の職員である公務補が送っておりまして、帰りは親御さんがお迎えに来てというような事をされておりますので、私どものバス運行側としては中学生半額というところまでは担保させていただきました。

【佐藤会長】

最後にもう一つ、お答えいただけなくても良いんですけれども、このデマンド交通の場合、例えば、福祉バス、スクールバスでそういうものとリンクしてこのデマンドになっているんですか。

【公聴・市民生活課 田村課長】

そうです。浜益は、福祉バスはちょっと別なんですけれども、スクールバスは一般混乗をしております、一般混乗は定時定路線ですから時間が決まっておりますけれども、病院、浜益診療所で診療を終えて、バスが来るまでとなると下手すれば一時間位待つ人がいるんですけれども、そういう場合に、こちらのデマンドをお使いいただいて帰っていただくという事にも利用が可能で、ある程度はリンクさせるようにはなっております。

【佐藤会長】

そうするとスクールバスは通っているんですね。

【公聴・市民生活課 田村課長】

通っています。

【佐藤会長】

走っていますね。

【公聴・市民生活課 田村課長】

お子さんがいらっしゃる間と言いますか、スクールバスがある以上は動きます。

【佐藤会長】

福祉バスも走っていますね。

【公聴・市民生活課 田村課長】

走っていますが。

【佐藤会長】

そしたら三つ走っていますね。今のこのデマンドを含めてという事になると。

【公聴・市民生活課 田村課長】

はい。

【佐藤会長】

どうもありがとうございました。大変参考になりました。

5. 協議事項

6. その他

- ・石狩市過疎地域自立促進市町村計画について（厚田支所地域振興課 相原主幹より説明）
- ・多機能拠点形成ビジョンについて（厚田支所地域振興課 相原主幹より説明）
- ・地域おこし協力隊報告会終了と退任について（厚田支所地域振興課 相原主幹より説明）
（地域おこし協力隊 小島隊員、沼倉隊員よりお礼の言葉）
- ・地域協議会小冊子について（厚田支所地域振興課 相原主幹より説明）

7. 次回会議等の日程について

平成 28 年 4 月 27 日（水） 18：30 ～ 望来コミセン みなくる

8. 閉会

平成 28 年 4 月 27 日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会 長 佐藤 勝彦